

2023年1月29日 主日礼拝

司 会 ①高木兄 ②浅井兄 ③浜田兄
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌502番「わが主はまことの牧者」
(感謝しつつ主の門に) (聖霊様あなたを求めます)

主の祈り

聖 書 ①② マタイによる福音書28章1～10節 (P49)
③ ローマ人への手紙5章1～6節 (P238)

音 楽 カルバリー聖歌隊 (V)

メッセージ ①② 「復活！新たな冒険への飛躍」 坪井永城副牧師
③ 「あなたの胸の火が飛び火して」 大川従道主任牧師

賛 美 「神ともにいまして」(讚美歌405番) 献金
(坂井大作兄、稗田進兄 召天)

頌 栄 「シャローム(平安あれ！)」 アーメン
祝 禱

「わたしたちが正気でないとするなり、それは神のためであったし、正気であるなり、それはあなたがたのためです。」
(Ⅱコリント五の十三新共同訳)

【大和ニュース】

☆本日はロサンゼルスから「ミラクルチャーチ」の代表役員高村兄が来日です。

* ドルカス会(60代の婦人会)の新年写真撮影会あり。聖壇前に集合。

・ 本日、責任役員会(12:30シャローム館)、J.PLUS(青年・学生・中高生 14:00森)。
第4礼拝は18:00。泉チャペル。説教は熊谷補教師「われ乏しきことあらじ」。

* 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は久保田副牧師。証は衛藤喜代姉。

☆月例の「断食祈禱会」は、金曜の9時～15時。6人の説教者。部分参加も歓迎です。

☆詩篇23篇の暗記は、今週の木曜までです。すてきなカードを贈呈します！

・ 土曜は花美人！会堂掃除(12時)、聖歌隊・オーケストラは13:30。

* 主日礼拝人数 ①68人(252)②166人(197)③234人(359)④27人=1303人
祈禱会 水曜55人(161) 木曜105人(82)=403人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

新年特大号『創刊100周年・文藝春秋』には、レベルの高い文章が多い。その最初のページには、作家であり数学者の藤原正彦氏が書いておられる。アメリカの大学にいた1970年代、ユダヤ系学生の成績が際立ってよかった。彼らに、「ユダヤ系は他民族に比べ優れていると思うかい」と聞いてみた。そのたびに強く否定された。「長い迫害の歴史の中で、土地の所有さえ禁じられ、財産を没収などされてきたから、決して奪われることのない知識を獲得しようしました。だから、親は子供にポコを着せても、一冊でも多くの本を与えようします。ユダヤ系が優れて見えるのは、知能の差ではなく教育のためです。」

世界人口の0.1%に過ぎない彼らが、ノーベル賞の約20%、フィールズ賞の約30%をとっている。散り散りになってもユダヤ教やヘブライ語を守り通すことができたのではないか。

* 大川評:この文の評価は、「決して奪われることのない知識を獲得しようとした」姿勢に光を当てたことでしょう。ユダヤ人が厳しい試練に会っても、その中でしか得られない祝福を得たということか。まさに「荒野で主の恵みを得た」という聖句で表現できる。

もうひとつ超大切なことを落としている。それは、神への信仰をもって生きたということでしょう。「イスラエルよ聞け。われわれの神、主は唯一の主である。あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならぬ。—これを家の入口の柱とあなたの門とに書き記さなければならない。」この教えを国を挙げて、何千年も守り、叫び続けてきた民である。

この約束を本気で信じ、実践してきたことが、祝福の基となったといえる。「神を畏れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。」

(伝道の書12章13節)

あなたの胸の火が わたしに飛び火して 全焼です

(星野富弘氏カレンダーより)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:マタイ20章~23章 Bコース:出エジプト記19章~36章